

平成 30 年度公益財団法人山崎こども教育振興財団事業報告

1 研修・育成事業

◆山崎サイエンス・スクール開催事業

目的 子どもの視点で日常生活の科学的事象をとらえ、「不思議」から「発見、感動」へと変化する理科の楽しさを実感させることで好奇心や思考力、洞察力が育つことを目指す。

内容 年間を通して理科に関する「実験」「体験」「観察」等を行い、講師には各分野に精通した先生を招聘する。

(1) 参加者 市内小学 5、6 年生 36 人

(2) 参加費 1 人 2,000 円

(3) 募集方法 対象となる市内小学 5、6 年生に募集チラシを配布し公募した。

(4) スクールの内容

① 第 1 回 平成 30 年 6 月 17 日(日) カタショー・ワンラボ

出席 23 人

〈内容〉 開講式

I ペットボトルで作る顕微鏡

講師 熊野 善介 先生(静岡大学教育学部教授)

II 海岸でみつけた白い塊を顕微鏡で観察しよう

講師 竹林 知大 先生(静岡大学大学院生)

② 第 2 回 平成 30 年 7 月 8 日(日) カタショー・ワンラボ

出席 31 人

〈内容〉 そら(空・宙)を使った科学 1

講師 福代 孝良 先生(東京大学特任准教授)

③ 第 3 回 平成 30 年 7 月 30 日(月) 静岡大学教育学部ほか

出席 35 人

〈内容〉 I 地球と太陽系について

講師 熊野 善介 先生(静岡大学教育学部教授)

II 立体の絵がかける!?プラスチックで遊んで、環境について考えよう!

講師 郡司 賀透 先生(静岡大学教育学部准教授)

III 施設見学・体験 「葵サンプル」での食品サンプル作り

④ 第 4 回 平成 30 年 8 月 21 日(火) 静岡大学工学部ほか

出席 35 人

〈内容〉 I 体温で発光するダイオードを作る

講師 立岡 浩一 先生(静岡大学工学部教授)

II 薬品を調合し鏡を作る

講師 杉田 篤史 先生(静岡大学工学部准教授)

III 施設見学 浜名湖体験学習施設ウォット見学

⑤ 第 5 回 平成 30 年 9 月 17 日(月) 富士宮市

出席 23 人

〈内容〉 富士山世界遺産センター、奇石博物館での見学・体験

- ⑥ 第6回 平成30年10月14日(日) カタショー・ワンラボ
出席 23人

〈内容〉 I 人工イクラの化学反応
講師 中山 隆男 先生 (元東海大学教授)
II 科学技術とロボットの話
“静岡STEMアカデミー事業”

- ⑦ 第7回 平成30年11月11日(日) カタショー・ワンラボ
出席 24人

〈内容〉 I アフリカツメガエルの解剖
講師 雪田 諭 先生 (静岡大学准教授)
II ミニロボの作製
“静岡STEMアカデミー事業”

- ⑧ 第8回 平成30年11月24日(土) カタショー・ワンラボ
出席 26人

〈内容〉 I そら(空・宙)を使った科学1
講師 福代 孝良 先生 (東京大学特任准教授)
II ミニロボで遊ぼう
“静岡STEMアカデミー事業”

- ⑨ 第9回 平成30年12月16日(日) カタショー・ワンラボ
出席 26人

〈内容〉 I 煮干しの解剖で人体から自然環境までを調べよう
講師 寺田 光宏 先生 (岐阜聖徳学園教授)
II 人工衛星(はごろも)ペーパークラフトの作製
“静岡STEMアカデミー事業”

閉講式

- (5) 効果 スクール生及び保護者からのアンケートでは、「参加してよかった」など、ほぼ全ての人から肯定的な意見をいただくとともに、理科への興味が増しさらに学習したいという趣旨の回答が多数あった。

◆自由研究相談会

目的 理科教諭や専門知識を持つ講師が、理科自由研究を行おうとする児童に研究テーマのヒントを与えたり、研究方法のアドバイスをすることで、将来、県レベルの賞が受賞できる児童の育成を目指す。

内容 はじめに研究のヒントとなるミニ実験を行った後、個別相談を行った。講師として静岡大学教育学部の学生にも協力してもらった。

- (1) 実施日 7月28日、29日

8月4日、5日、11日、12日、18日、19日

- (2) 参加者 8日間の延べ人数 小学生35人、中学生5人

2 顕彰事業

◆ 山崎こども教育賞表彰事業

(1) 趣旨

思いやりある行動や他の模範となる活動を行った児童生徒を表彰し、心豊かでこころざしを持った次世代を担う児童生徒の育成に資することを目的とする。

(2) 表彰対象者及び表彰理由

思いやりある行動や児童会（生徒会）活動などで模範となる活動を行った児童（小学6年生）及び生徒（中学3年生）・・・26個人

(3) 表彰式 平成31年3月9日(土) 午前10時00分

相良総合センター い〜ら

(4) 記念品 図書カード（小学生3,000円分、中学生5,000円分）

(5) 出席者 代表理事、理事、評議員、小中学校長及び保護者

*H30年度も、教育委員会表彰と山崎こども教育賞表彰を1つの表彰式の中で執り行った。

3 助成・支援事業

◆ 自然科学教育図書費等助成

(1) 概要 児童生徒の科学する「心の芽（探究心）」を育てるため、市内の小中学校等に対し、自然科学に関する図書及び理科教材費を助成する。

(2) 対象 牧之原市立小中学校及び牧之原市菊川市学校組合立小中学校

(3) 助成額

単位:円

学校名等	児童生徒数 (人)	均等割	児童 生徒数割	助成額	備考
相良小	526	50,000	159,000	209,000	
菅山小	148	50,000	45,000	95,000	
萩間小	129	50,000	39,000	89,000	
地頭方小	207	50,000	63,000	113,000	
牧之原小	170	50,000	51,000	101,000	
川崎小	439	50,000	132,000	182,000	
細江小	448	50,000	135,000	185,000	
勝間田小	140	50,000	42,000	92,000	
坂部小	107	50,000	33,000	83,000	
相良中	419	50,000	126,000	176,000	
牧之原中	55	50,000	18,000	68,000	
榛原中	543	50,000	165,000	215,000	
合計	3,331	600,000	1,008,000	1,608,000	振込手数料を除く

(4)内訳

学校名等	図書費	教材費	その他	助成額	備考(図書冊数)
相良小	121,990	87,010		209,000	58冊
菅山小	95,000			95,000	22冊
萩間小	42,732	46,268		89,000	29冊
地頭方小	62,564	50,436		113,000	26冊
牧之原小	51,550	49,450		101,000	20冊
川崎小	95,000	87,000		182,000	10冊
細江小	95,000	90,000		185,000	51冊
勝間田小	48,222	43,778		92,000	20冊
坂部小	47,196	35,804		83,000	23冊
相良中	92,230	83,770		176,000	12冊
牧之原中	34,940	33,060		68,000	16冊
榛原中	115,400	99,600		215,000	デジタル教科書 3セット
合計	901,824	706,176		1,608,000	振込手数料を除く

◆ドリーム教育講演会講師料補助事業

(1) 概要 各小中学校が児童生徒を対象に、夢に向かって努力すること、こころざしを持つことや道徳、自然科学に関する講演会等を開催する場合、1校あたり15万円を上限に講師料の補助を行う。

(2) 対象 児童生徒を対象とする。(児童生徒と保護者で聴講することや複数の学校が合同で開催することも可能。)

(3) 助成額

単位:円

学校名等	演題等	実施期日	講師	事業費
相良小	レジリエンスを育てるための考え方	H30.9.21	静大小林ゼミ学生	23,500
牧之原小	命の授業～ドリー夢メーカーと今を生きる	H30.10.9	越塚勇人	133,800
牧之原中	夢に向かって	H30.12.19	鈴木裕子	76,822
合 計				234,122